

# 戦後ドイツの映画ポスター

Postwar German Posters for Films

東京国立近代美術館フィルムセンター 展示室(7階)

2016年11月15日(火) — 2017年1月29日(日)



主催：東京国立近代美術館フィルムセンター、京都国立近代美術館

後援：駐日ドイツ連邦共和国大使館

協力：ドイツ映画研究所 (DIF)、サントリーホールディングス株式会社、Goethe-Institut/ドイツ文化センター

## 東西統一から四半世紀——“壁”の両側のグラフィックをたどる

第二次世界大戦の終結後、政治対立により東西二つに分断されたドイツは、1990年に統一されるまでの間、冷戦の最前線にあって映画界も別々の道を歩むことになりました。西ドイツでは映画製作が息を吹き返すとともにアメリカや西欧の映画が盛んに輸入され、東ドイツでは国営会社 DEFA によって独自の社会主義的な映画文化が育まれました。

そうした映画文化の分岐は、映画のポスターにも及びました。西ドイツでは、アート・フィルムを配給する会社がハンス・ヒルマン、フィッシャー＝ノスピッシュ夫妻ら新世代のグラフィック・デザイナーを積極的に起用し、時に大胆なタイポグラフィに訴えた鮮烈なポスターが制作されました。一方で東ドイツでは、DEFA の采配のもと、エアハルト・グリュットナーやオットー・クンメルトラが、内省的な、しかし宣伝美術の枠に囚われない自在な表現を生み出します。

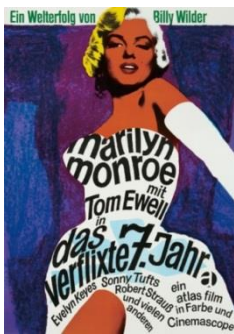
この展覧会では、フィルムセンターと京都国立近代美術館の共催により、1950年代後半から1990年までに制作された85点(西ドイツ45点+東ドイツ40点)の映画ポスターを通じて、“鉄のカーテン”の両脇で花開いた二つのグラフィズムを紹介します。

また本展覧会は、11月29日から12月25日まで開催される特集上映「DEFA70周年 知られざる東ドイツ映画」の関連企画として行われます(※詳細は後日ホームページなどでお知らせいたします)。初の本格的な東ドイツ映画特集とともにご注目いただき、ぜひ、貴媒体にてご紹介いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

## 展覧会の内容

### 西ドイツの映画ポスター

第二次大戦後の西ドイツの映画状況を特徴づけたのは、アメリカ映画の大量流入と自国の娯楽映画の復活でした。そのことは映画業界を商業的に活気づけましたが、その中から国内外で製作されたアート志向の映画を主に配給する会社が現れました。そうした野心的な会社は、映画ポスターの制作を「カッセル派」の若手グラフィック・デザイナーに依頼し、先鋭的なデザインを実現させました。通俗的な商業的映画ポスターが主流を占める中、このような芸術的映画ポスターは、それを支えた配給会社が力を失う1970年代中期まで盛んに作られました。



⑦



⑧

### 東ドイツの映画ポスター

東ドイツでは、1949年の国家成立以降、DEFAが、社会主義体制のもとで映画製作に取り組むようになり、1950年にはプロGRESS社が国内での映画配給を一手に担うことになりました。1960年代以降、エアハルト・グリュットナーなど新世代のデザイナーの登場により、徐々に活況を呈するようになりました。文化的表現への国家統制が存在する一方、商業的制約の欠如からデザイン上の自由が保証されたことで、1970年代からイラストレーション志向が強い注目すべきポスターがドイツ統一までの間、数多く生み出されました。



⑨



⑩

■フィルムセンターと京都国立近代美術館の共催により、1950年代後半から1990年までに制作された85点（西ドイツ45点＋東ドイツ40点）の映画ポスターを紹介します。

■全出品作を収録した図録も作成。会場でお買い求めいただけます。

■本展は、11月29日から12月25日までフィルムセンター大ホール（2階）で開催される特集上映「DEFA70周年 知られざる東ドイツ映画」の関連企画です。※詳細は後日ホームページなどでお知らせいたします。

■2017年4月19日（水）から6月11日（日）に京都国立近代美術館へ巡回します。

## トークイベント

※詳細は後日ホームページなどでお知らせいたします。

### ◆11月26日（土） 冷戦下の東ドイツ映画

講師：山根恵子氏（法政大学名誉教授、現代ドイツ文学・映像文化）

### ◆12月17日（土） 戦後ドイツのポスター・グラフィック

講師：寺本美奈子氏（グラフィックデザイン・キュレーター）

### ◆1月21日（土） 展示品解説

フィルムセンター研究員が展示品を解説いたします。

## プレス向け説明会

展覧会初日 11月15日（火）16時より

ご希望の方は、別紙のご案内をご参照いただき、下記までご連絡ください。

事業推進室 広報担当（電話：03-3561-0823、FAX：03-3561-0830、メール：nfc-pr@momat.go.jp）

**展示ポスター 一覧 (全 85 点)**

\* 『映画タイトル』ポスター製作年/ポスター作者名

**1~45 西ドイツ 45 点**

- 1.『第七の封印』1962年/ポスター：フェリー・アーレ
- 2.『昨日からの別れ』1966年/ポスター：フェリー・アーレ
- 3.『突然炎のごとく』1962年/ポスター：ベレ・パッヘム
- 4.『シュバツサルトの森の宿屋』1958年/ポスター：ベレ・パッヘム
- 5.『ドクトル・マブゼ』1963年/ポスター：カール・オスカー・ブラーゼ
- 6.『es』1966年/ポスター：カール・オスカー・ブラーゼ
- 7.『こんなに悪い女とは』1964年/ポスター：ハインツ・エーデルマン
- 8.『イエロー・サブマリン』1968年/ポスター：ハインツ・エーデルマン
- 9.『沈黙』1964年/ポスター：フィッシャー＝ノスピッシュ
- 10.『裸の拍車』1965年/ポスター：フィッシャー＝ノスピッシュ
- 11.『夜空に星のあるように』1968年/ポスター：フィッシャー＝ノスピッシュ
- 12.『野火』1962年/ポスター：フィッシャー＝ノスピッシュ
- 13.『嘆きの天使』1964年/ポスター：フィッシャー＝ノスピッシュ
- 14.『のんき大将 脱線の巻』1963年/ポスター：フィッシャー＝ノスピッシュ
- 15.『七年目の浮気』1966年/ポスター：フィッシャー＝ノスピッシュ
- 16.『殺人者は我々の中に』1959年/ポスター：フィッシャー＝ノスピッシュ
- 17.『人間の条件 完結篇』1962年/ポスター：ハンス・ヒルマン
- 18.『ミュリエル』1963年/ポスター：ハンス・ヒルマン
- 19.『荒野の用心棒』1965年/ポスター：ハンス・ヒルマン
- 20.『奥様は魔女』1958年/ポスター：ハンス・ヒルマン
- 21.『不運』1964年/ポスター：ハンス・ヒルマン
- 22.『アントニオ・ダス・モルテス』1970年/ポスター：ハンス・ヒルマン
- 23.『七人の侍』1962年/ポスター：ハンス・ヒルマン
- 24.『スリ』1965年/ポスター：ハンス・ヒルマン
- 25.『アルチバルド・デラクルスの犯罪的人生』1961年/ポスター：ハンス・ヒルマン
- 26.『戦艦ポチョムキン』1966年/ポスター：ハンス・ヒルマン
- 27.『長距離ランナーの孤独』1966年/ポスター：ハンス・ヒルマン
- 28.『女と男のいる舗道』1970年/ポスター：ハンス・ヒルマン
- 29.『パリはわれらのもの』1968年/ポスター：ハンス・ヒルマン
- 30.『生きるべきか死ぬべきか』1964年/ポスター：ハンス・ヒルマン
- 31.『僕の村は戦場だった』1963年/ポスター：ヤン・レニツァ
- 32.『小さな兵隊』1966年/ポスター：ヤン・レニツァ
- 33.『二十四時間の情事』1960年/ポスター：エルンスト・リッター
- 34.『大通り』1956年/ポスター：マリー・マルクス
- 35.『紅はこべ』1963年/ポスター：ミヒエル+キーザー
- 36.『極楽発展倶楽部』1965年/ポスター：ミヒエル+キーザー
- 37.『どん底』1959年/ポスター：イゾルデ・モンソン＝パウムガルト
- 38.『5時から7時までのクレオ』1967年/ポスター：イゾルデ・モンソン＝パウムガルト
- 39.『たそがれの女心』1960年/ポスター：イゾルデ・モンソン＝パウムガルト
- 40.『アンナ・マグダレーナ・バッハの日記』1969年/ポスター：イゾルデ・モンソン＝パウムガルト
- 41.『天井桟敷の人々』1964年/ポスター：イゾルデ・モンソン＝パウムガルト
- 42.『カプリオーレン』1963年/ポスター：ヴォルフガング・シュミット
- 43.『M』1966年/ポスター：ヴォルフガング・シュミット
- 44.『危機や大いなる困窮において中道は死をもたらす』1974年/ポスター：マルグリット&ペーター・ズィッケルト
- 45.『RADIO ON』1980年/ポスター：マルグリット&ペーター・ズィッケルト

**46~85 東ドイツ 40 点**

- 46.『もぐらくんのおえかき』1976年/ポスター：シュテッフィ・ブルーム
- 47.『ジプシーは空にきえる』1977年/ポスター：ヘルムート・ブラーデ
- 48.『イノセント』1978年/ポスター：ヘルムート・ブラーデ
- 49.『蠅の死』1977(1978)年/ポスター：ゲルノート・ブラント
- 50.『作業班長のヘルメット』1985(1986)年/ポスター：ゲルノート・ブラント
- 51.『テレサの肖像』1981年/ポスター：ゲルダ・グッシンク
- 52.『執炎』1969年/ポスター：ハインツ・エーベル
- 53.『白い霧』1979年/ポスター：ハインツ・エーベル
- 54.『三銃士』1977年/ポスター：クリストフ・エーベツ
- 55.『アナラという町』1979年/ポスター：クリストフ・エーベツ
- 56.『女相続人たち』1981年/ポスター：アンネリーゼ・エルンスト
- 57.『サボテン』1989年/ポスター：アンネリーゼ&ハンス＝エーベルハルト・エルンスト
- 58.『サボテン・ブラザーズ』1990年/ポスター：クラウド・フィンガー
- 59.『宝探し』1979年/ポスター：エアハルト・グリュットナー
- 60.『屋根にはただ花を置いて』1979年/ポスター：エアハルト・グリュットナー
- 61.『ジャンヌ・モローの思春期』1981年/ポスター：エアハルト・グリュットナー
- 62.『カップルでいる方法』1981年/ポスター：エアハルト・グリュットナー
- 63.『破損』1988年/ポスター：エアハルト・グリュットナー
- 64.『死が汝らをつかまで』1979年/ポスター：ハインツ・ハントシク
- 65.『ついて来い、追いつくから』1980年/ポスター：ハインツ・ハントシク
- 66.『蛇の卵』1979(1980)年/ポスター：オットー・クンメルト
- 67.『ヴィルコの娘たち』1980年/ポスター：オットー・クンメルト
- 68.『カンボジア、その死と復活』1980年/ポスター：オットー・クンメルト
- 69.『あの春太陽は出なかった』1985年/ポスター：オットー・クンメルト
- 70.『さよなら子供たち』1989年/ポスター：オットー・クンメルト
- 71.『ときどきおかしな幸運児』1978年/ポスター：エーベルハルト・レンク
- 72.『走れ、ウェイター！』1981年/ポスター：ゲルハルト・ラップス
- 73.『メイン・イベント』1980年/ポスター：ゲルハルト・ラップス
- 74.『カリフォルニア・スイート』1980年/ポスター：マルリース・シュレーゲル
- 75.『アトランティスへの途上』1976(1977)年/ポスター：レギーネ・シュルツ&ブルクハルト・ラボフスキ
- 76.『隠れ家』1978年/ポスター：レギーネ・シュルツ&ブルクハルト・ラボフスキ
- 77.『スタートレック』1985年/ポスター：レギーネ・シュルツ&ブルクハルト・ラボフスキ
- 78.『ぼくの伯父さんの休暇』1978年/ポスター：アルブレヒト・フォン・ボデカー
- 79.『チンボラソ山登頂』1989年/ポスター：アルブレヒト・フォン・ボデカー
- 80.『ゾリン大佐の報告』1979年/ポスター：ヘルムート・ヴェンクラ
- 81.『女優』1988年/ポスター：ヘルムート・ヴェンクラ
- 82.『メフィスト』1981年/ポスター：ホルスト・ヴェスラー
- 83.『女と男の名誉』1987年/ポスター：ギゼラ・ヴォンゲル
- 84.『アムステルダム無情』1989年/ポスター：ギゼラ・ヴォンゲル
- 85.『星の王子 ニューヨークへ行く』1990年/ポスター：ギゼラ・ヴォンゲル

## 開催概要

展覧会名	戦後ドイツの映画ポスター Postwar German Posters for Films
	主催：東京国立近代美術館フィルムセンター、京都国立近代美術館 後援：駐日ドイツ連邦共和国大使館 協力：ドイツ映画研究所（DIF）、サントリーホールディングス株式会社、 Goethe-Institut／ドイツ文化センター
会期	2016年11月15日（火）－2017年1月29日（日）
休室日	月曜日および12月26日（月）－1月3日（火）
開室時間	午前11時－午後6時30分（入室は午後6時まで）
会場	東京国立近代美術館フィルムセンター 7階展示室
アクセス	東京メトロ銀座線京橋駅下車、出口1から昭和通り方向へ徒歩1分 都営地下鉄浅草線宝町駅下車、出口A4から中央通り方向へ徒歩1分 東京メトロ有楽町線銀座一丁目下車、出口7より徒歩5分 JR 東京駅下車、八重洲南口より徒歩10分
料金	一般 210（100）円／大学生・シニア 70（40）円／高校生以下及び18歳未満、障害者（付添者は原則1名まで）、MOMATパスポートをお持ちの方、キャンパスメンバーズは無料 * 料金は常設の「NFCコレクションでみる 日本映画の歴史」の入場料を含みます。 * （ ）内は20名以上の団体料金です。 * 学生、シニア（65歳以上）、障害者、キャンパスメンバーズの方はそれぞれ入室の際、証明できるものをご提示ください。 * 大ホールで企画上映をご覧になった方は当日に限り半券のご提示により団体料金が適用されます。
お問合せ	03-5777-8600（ハローダイヤル）
HP	<a href="http://www.momat.go.jp/fc/exhibition/germanposter/">http://www.momat.go.jp/fc/exhibition/germanposter/</a>
イベント	○トーク・イベント [11/26（土）、12/17（土）、1/21（土）] ○関連上映企画 「DEFA70周年 知られざる東ドイツ映画」 会期：11月29日（火）～12月25日（日） 場所：フィルムセンター大ホール（2階）※詳細は後日ホームページなどでお知らせいたします。
巡回先	京都国立近代美術館（4階コレクション・ギャラリー） 2017年4月19日（水）～6月11日（日）

### 【企画に関するお問合せ】

東京国立近代美術館フィルムセンター 事業推進室 広報担当 白鳥

〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-6 TEL:03-3561-0823 FAX:03-3561-0830 nfc-pr@momat.go.jp

※記事掲載の問い合わせ先は、TEL:03-5777-8600（ハローダイヤル）をご使用ください

広報用画像&読者プレゼント招待券申込書「戦後ドイツの映画ポスター」

お名前： \_\_\_\_\_ ご所属・媒体名： \_\_\_\_\_

出版物・放送番組名： \_\_\_\_\_

TEL： \_\_\_\_\_ FAX： \_\_\_\_\_

メールアドレス： \_\_\_\_\_

\* 広報用画像は本プレスリリースに掲載されている全ての画像です。  
 画像右下の番号をご参照の上、貸出を希望されるデータの口にチェックをつけてください

①	『ミュリエル』(1963年/フランス/アラン・レネ監督) ポスター：ハンス・ヒルマン(1963年) サントリーポスターコレクション(大阪新美術館建設準備室寄託)	西
②	『昨日からの別れ』(1966年/西ドイツ/アレクサンダー・クルーゲ監督) ポスター：フェリー・アーレ(1966年) ドイツ映画研究所所蔵	西
③	『M』(1931年/ドイツ/フリッツ・ラング監督) ポスター：ヴォルフガング・シュミット(1966年) ドイツ映画研究所所蔵	西
④	『三銃士』(1974年/フランス/アンドレ・ユヌベル監督) ポスター：クリストフ・エーベツ(1977年) サントリーポスターコレクション(大阪新美術館建設準備室寄託)	東
⑤	『メフィスト』(1981年/ハンガリー/サボー・イシュトヴァーン監督) ポスター：ホルスト・ヴェスラー(1981年) フィルムセンター所蔵	東
⑥	『ジブシーは空にきえる』(1976年/ソビエト/エミーリ・ロチャヌー監督) ポスター：ヘルムート・ブラーデ(1977年) サントリーポスターコレクション(大阪新美術館建設準備室寄託)	東
⑦	『七年目の浮気』(1955年/アメリカ/ビリー・ワイルダー監督) ポスター：フィッシャー＝ノスピッシュ(1966年) サントリーポスターコレクション(大阪新美術館建設準備室寄託)	西
⑧	『七人の侍』(1954年/日本/黒澤明監督) ポスター：ハンス・ヒルマン(1962年) ドイツ映画研究所所蔵	西
⑨	『ジャンヌ・モローの思春期』(1979年/フランス=西ドイツ/ジャンヌ・モロー監督) ポスター：エアハルト・グリュットナー(1981年) フィルムセンター所蔵	東
⑩	『さよなら子供たち』(1987年/フランス=西ドイツ/ルイ・マル監督) ポスター：オッター・クンメルト(1989年) サントリーポスターコレクション(大阪新美術館建設準備室寄託)	東
画像データ貸出希望日時		月 日 時頃までに希望
読者プレゼント招待券		組 名(合計 枚) 希望します

**プレス・イメージ貸出条件**

1. 画像は、展覧会紹介の目的にのみご使用ください。2. データを第三者に渡すことは禁じます。使用后、画像データは消去してください。3. 展覧会の名称、期間、会場は、適切な場所、大きさを明示していただくようお願いいたします。4. 作品画像は全国で使用してください。部分使用やトリミング、作品に文字を重ねることはできません。5. 画像を掲載される際には、イメージ貸出時に添付するクレジットをご記載ください。6. 掲載紙(誌)は、1部、事業推進室宛にご寄贈ください。webサイトの場合は、掲載時にお知らせください。\*画像データ(JPEG)にてお貸出いたします。その際、一緒にお送りするキャプションもご確認ください。\*掲載前に、校正紙をお送りください。お送りいただけない場合、掲載内容についての責任は当方では負いかねます。